



土をこね、形を整え、焼く。
あるいは釉薬 をかけ、
絵を描き文字を添え
炎との融合で生まれる陶。

一般社団法人 日本デザイン・陶藝研究協会は「陶」を通して様々な方と巡り合い、
そして多くの 方々に支えられ、陶の無限な可能性「宇宙」を追求するために発足しました。



今回、「景德镇・日本現代陶芸展～炎と筆の競演～」を開催にあたり、本当に多くの方々にご支援をいただき、人と人のご縁があってこそ 設立間もない当協会がこのような展示会を主催できたと、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。この展示会を 契機に日中のものでづくりの方々の交流が一層深まるよう、また人と人との出会いによってより魅力あるJAPAN BRANDが創造できるよう尽力して参ります。

理事長 佐々木 歩美

搗土、制坯、烧結。
上釉、绘图、添字。
一件件陶艺术品在烈焰中诞生。

陶の宇宙展

迄今为止，我们以「陶」会友，结识了各方人士并得到了大家的支持。在此背景下，为了探索陶艺术品中所蕴含的无限可能性，成立了一般社団法人 日本设计・陶艺研究协会。

这次承蒙各方鼎力相助，又恰逢人缘，在本协会成立不久之际就能主办「景德镇·日本当代陶艺展---」
烈火艺术与书法艺术争艳---」
我们心里充满着感激之情。我们愿借此机会进一步深化日中两国艺术家之间的交流，
并通过人与人之间的交往，为打造更具魅力的日本品牌尽自己绵薄之力。

景德镇 日本現代 陶芸展

～炎と筆の競演～

開催場所 兵庫県立美術館

平成28年

開催期間 6月1日～5日

10時から18時(5日は14時まで)

後援 兵庫県、神戸市、(株)日経プラザ&サービス

特別企画協力 株式会社三宝齋、圣丽珂(上海)商贸有限公司

主催 一般社団法人日本デザイン・陶藝研究協会



周国桢



干支を題材にしたまったく新しい陶芸品シリーズ

周国桢氏はすでに80を超えた高齢にもかかわらず、なお、陶芸への探求が続けられている。常に芸術の世界に没頭し、従来の作法に異議を唱え、自我を超越しようとする革新を目指したりするなど、内なる体験とほぼ並ぶインスピレーションで表現の境地を極めた。自然をベースに、度重なる否定と高次元の主観的創造や芸術へのこだわりを通して、炎と土を媒介に、数々の傑作を生み出してきた。動物をかたどった陶芸品作りは周国桢氏の生涯の創作活動において大きなウエイトを占めている。同氏は、釉薬の施し方を工夫するなど、ユニークな芸術手法で動物たちを生き生きと再現し、その仕草や表情に重厚で質朴な風格を与えたのみならず、作品を通じて動物を擬人化し、機敏にとらえた人間の心の動きを端的に表現している。



「大猴王」

「全新生肖陶艺系列」

如今的周国桢已年过80，而他的陶瓷之路仍在继续，或是沉浸、或是叛逆、或是超越、或是革新，其内在体验和心灵激情的极力表现、高于自然原型的主观创造与颠覆，以及对艺术生生不息的渴求与执着，都化成了火与土的语言，在积淀、升华后绽放出件件瓷作精品。动物瓷雕是周国桢艺术生涯中最为重要的部分，他以独特的艺术手法还原动物的自然形貌，用粗旷质朴或釉色熔的材质表现在精神的张力；他从感性的心理层面把握人与动物的真切融合，将动物人格化，意义化。



【日本画家】 後藤純男

1930年 千葉県東葛飾郡関宿の無量寿院に、真言宗住職の次男として生まれる。
1946年 山本丘人に師事。後に田中青坪に師事。
2000年 日本美術院理事に就任。
2001年 中国西安美术学院に『後藤純男日本画工作室』落成。
2006年 春の勲章で『旭日小綬章』を受章。
2016年 2015年度日本芸術院賞受賞。特に顕著な業績を認められ恩賜賞を受賞。
現在 日本美術院同人・理事、中国西安美术学院名誉教授。



「早春富士」



「春の黄山」

梅紅玲



梅紅玲氏は浙江省龍泉市出身、1972年12月生まれ。浙江省ハイレベルの工芸美術家であり、浙江省女性企業家協会、中国工芸美術学会および中国陶磁工業協会のメンバーでもある。1991年から青磁作品のデザインと創作に携わり、2000年に浙江天豊陶磁器株式会社の前身である田豊陶磁器製作所を設立した。

ちなみに、2003年に「浙江省巾幗(女傑)創業先駆者」、2007年には「中国でコレクターに最も好かれる陶芸芸術分野における卓越した人物」という栄冠を得た。なお、2005年に作品「哥窑関公」で「百花賞」の内、「中国工芸美術品傑作賞」を受賞、2007年に自作の「風と小鱼」をもって、中国でコレクターに親しまれる芸術家として金賞を獲得したほか、2009年に作品「玉如意」の発表で第二回中国・浙江省工芸美術品博覧会において「天工芸苑カップ金賞」を受賞している。



浙江省工艺美术大师—梅红玲
梅红玲，1972年12月出生于浙江省龙泉市。浙江省工艺美术大师，高级工艺美术师，浙江省女企业家协会会员，1991年起开始从事青瓷设计与创作，2000年创办田丰陶瓷厂（现为浙江天丰陶瓷有限公司）曾于2003年、2007年分别被评为“浙江省巾幗创办带头人”和“中国收藏家最喜爱的陶瓷艺术精英”。2005年，作品《哥窑关公》获2005“百花杯”中国工艺美术精品奖优秀作品奖；2007年《风和小鱼》在中国收藏家喜爱的艺术大师和精英评选中获金奖。2009年《玉如意》获第二届中国·浙江工艺美术精品博览会“天工艺苑杯”金奖。



【陶藝家】 山崎 督



自然胡麻昇龍水盤



静座窯変茄子大花入

1968年 岡山県の長法寺に生まれる。
1976年 叔父である陶芸家 高木 知泰の指導を受ける。
1989年 醒神窯を築く。
1996年 全国の百貨店にて作陶展を開催(～2003年)
2002年 中国 梁雲軒(上海書画出版社)より日本人初の「山崎督作品集」を製本・出版される。
2009年 SunRiequeのデザイン開発及び製品開発を指導。
現在 一般社団法人日本デザイン・陶藝研究協会 理事
陶藝を通じて世界の文化交流に貢献することを目指し、「獨・力・簡」を貫き、天地が万物を育む有様を表現する作品作りにも励んでいる。



丹波立杭焼 「自然釉ティーポット」



丹波自然釉花入

稲右衛門とは江戸時代中期(宝暦年間)に初代稲右衛門が丹波焼きを志し、白丹波、黒丹波、墨流等に名品を残した陶工である。現在まで、二百八十年来にわたり当代で十代目稲右衛門を継承している。



【丹波立杭焼 稲右衛門窯】 上中剛司